

社団法人 日本物理学会  
2011年1月1日～8月31日  
事業報告書

## 目次

\*\*\*\*\*

1. 事業概要	2-5. 刊行物
2. 各事業詳細資料	3. 処務詳細資料
2-1. 学術講演会の開催・後援等	3-1. 総会・役員に関する事項
2-2. 国際交流・協力活動	3-2. 契約・入札・他に関する事項
2-3. 物理学に関する普及・啓蒙活動	4. 会員の異動状況
2-4. 本会の目的達成のために重要な活動	

\*\*\*\*\*

## 1. 事業概要

本会期を特徴付ける活動は

- 1) 一般社団法人への移行申請作業
- 2) 東日本大震災への対応
- 3) 就業規則・給与規則の改訂
- 4) 諸学会・団体との連携

である。今期は3月11日に発生した東日本大震災のために2)に示す変則的な活動を強いられた。以下にそれぞれを概観する。

## 1) 一般社団法人への移行申請作業

2008年12月から実施された新公益法人制度に対応するため、第87回臨時総会(2010年7月10日)で承認されて以降準備を重ねてきた。本年5月9日に移行申請をし、8月22日付けで内閣府総理大臣より認可書を受け取り、予定通り本年9月1日付けの移行登記を行い、当日より、新定款、新細則による運営がされることとなった。移行に備えた諸準備の内、代議員については、移行前法人体制で細則を改定し、選挙管理委員会による代議員選挙を行った。その結果選出された代議員は、新法人体制での代議員となる。また、新しい公益法人会計基準への移行により特別会計が設けられなくなるため、米軍資金凍結金会計を含む全ての特別会計を廃止する方向を決めた。米軍資金凍結金は特定資産「米軍資金凍結金預金」として保有される。

## 2) 東日本大震災への対応

2-1 震災発生は新潟大学で開催予定の年次大会の間際であったため、まず開催の可否決定を急いだ。結果として大会を中止したが、当時、東北地方からの避難者が新潟に集中していたことから妥当な選択であった。後日、永宮会長が新潟大学を訪問し、大会に向けて多大な準備を重ねた現地実行委員会の労をねぎらった。年次大会での講演予定者にとって、講演は中止になったものの発表が成立したかは重要案件である。そこで、講演資料公開サイトを設置し、ここに資料を掲載した場合には発表が成立したものとした。年次大会に併せて開催されるジュニアセッションも延期となったが、7月に新潟大学で開催された。

2-2 震災被災者への義援金の拠出を総会に諮り、実行した。義援金は今期理事・監事の個人負担を含めて総額100万円とし、総額を本会名義で日本赤十字に委託した。

また、被災した本会会員に対する会費免除措置を決定し、免除対象は翌年度会費とした。

## 2-3 原子力利用とエネルギーに関するシンポジウムの開催

福島第一原子力発電所の事故に関連して、「物理学者から見た原子力利用とエネルギー問題」と名付けたシンポジウムを開催した。

## 3) 就業規則・給与規則の改訂

刊行センターには物理学会雇用の職員と、応用物理学会職員とが働いている。これら職員間の労働条件にあまり大きい差があることは好ましくないことから、両学会間で可能な調整を行い、併せて世の中の平均的な労働条件とのすりあわせを行った。主として休暇の日数、手当などの見直しからなり、刊行センター独自の就業規則の廃止を伴う改定であり、2011年1月1日からの実施予定であった。応用物理学会は予定通り実施したが、本会は遅れて4月1日からの実施となった。

#### 4) 諸学会・団体との連携

##### 4-1 海外学会との連携

永宮会長が AAPPS の会長に就任し、アジア各国の物理学会との関係を深め、AAPPS の活動を活性化する取り組みが強化された。特に韓国との連携を核として新しい刊行方針による AAPPS Bulletin の発行が実現した。Bulletin のために日本が負担してきた多額の費用も、日・中・韓が分担することになった。

韓国物理学会との間では年会開催時の共同シンポジウムの開催、ポーランド物理学会との間では相互訪問時の費用負担について協約を交わした。

##### 4-2 物理オリンピック日本委員会との協定

物理オリンピック日本委員会が本会事務局内に事務局を設置し、本会が事務的協力をする事について協定書を交わした。

##### 4-3 日本物理教育学会との協定

日本物理教育学会が本会事務局内に事務局を設置し、本会が事務的協力をする事について協定書を交わした。

## 2. 各事業詳細資料

2-1. 学術講演会の開催・後援等	
2-1-1. 第66回年次大会関係	<p>会期：3月25日(金)～28日(月)</p> <p>会場：新潟大学 五十嵐キャンパス(新潟市西区五十嵐2の町)</p> <p>上記での開催を予定していたが、東日本大震災のため中止をする判断をした。大会の開催は中止としたが、講演資料公開サイトを開設し講演は成立するものとした。(サイト開設は2011年8月まで)。また、若手奨励賞受賞記念講演については秋季大会への延期とした。</p> <p>講演数：4,230件</p> <p>内訳：一般講演 3,538件、PS 692件</p> <p>参加登録者数：5,150名</p>
2-1-2. 各種国内会議	102件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。
2-2. 国際交流・協力活動	
2-2-1. 国際会議の共催	<p>会議名：第8回物質内高速重イオン国際シンポジウム</p> <p>主催：SHIM2012実行委員会</p> <p>会期：2012年10月23日(火)～2012年10月27日(土)</p> <p>場所：京都大学百周年時計台記念館</p> <p>本会代表運営委員：伊藤秋男(京大院工)</p> <p>参加者数：150名(予定)</p> <p>なお、上記件の国際会議以外に、15件の国際会議の協賛・後援を行った。</p>
2-2-2. その他の国際活動	<p>AAPPS委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓物理フォーラムの検討</li> <li>・AAPPS Bulletin 発行に関する対応検討</li> </ul> <p>AAPPS(アジア・太平洋物理学連合)の加盟学会としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年A P P C 12の日本誘致</li> <li>・AAPPSへの積極的関与(第25回AAPPS理事会出席など)</li> </ul> <p>IUPAP WIP 国際会合へ男女共同参画推進委員会より代表団派遣</p>

	<p>韓国物理学会・ポーランド物理学会との協定書締結          海外からの投稿者へのJPSJ掲載料金援助          諸外国の学会とのJPSJの交換          APS March Meeting 2011へ展示ブースを出展（3月）          26th Int. Conf. Low Temp. Phys. (LT26)へ展示ブースを出展（8月）</p>
<b>2-3.物理学に関する普及・啓蒙活動</b>	
<b>2-3-1. 科学セミナー</b>	<p>セミナー名：イメージングの科学          会期：7月25日(月)、26(火)          会場：東京大学弥生講堂一条ホール          演題：「ナノ物質のイメージング」以下9件          聴講料：無料          聴講者数：162名</p>
<b>2-3-2. 第7回 Jr.セッション</b> (主に高校生による講演発表会 ・新潟大学で開催)	<p>3月26日に第66回年次大会(新潟大学)会場において開催を予定していたが、東日本大震災の影響を考慮して延期、次の日時に開催した。          会期：7月24日(日)9:20~16:00          会場：新潟大学五十嵐キャンパス大学会館          発表件数：24件(口頭9件、ポスター12件、ポスター展示のみ3件)          なお、延期のため発表できなくなった講演が7件あった。          表彰件数：最優秀賞1件 優秀賞3件 奨励賞6件          参加者数：約200名(うち高校生約120名)</p>
<b>2-3-3. その他</b>	<p><b>【物理教育シンポジウム】「高校の物理、大学の物理 そしてその接続」</b>          主催：(社)日本物理学会          共催：日本物理教育学会          後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会          期日：2011年4月3日(日)13:00~16:30          場所：東京大学本郷キャンパス小柴ホール          プログラム：          1.はじめに 新田英雄(物理教育委員会委員長)          2.参照基準について 北原和夫(国際基督教大学)          3.新入学生のデータと全学的基礎物理教育の改革 鈴木 勝(電気通信大学)          4.高校の物理教育のカリキュラム・指導要領のあり方について          川角 博(東京学芸大学付属高校)          5.高校の物理教育の授業実践の具体例について 岸澤眞一(越谷高校)          6.総合討論          参加者数：95名</p> <p><b>【自然の不思議—物理教室】</b>          共同主催：日本物理学会・国立科学博物館・日本物理教育学会          開講日：6月25日(土)、7月16日(土)、8月6日(土)          場所：国立科学博物館 上野本館地球館(東京都台東区)          主な対象は小学5年~中学3年。毎回15名~20名の参加者があった。</p> <p><b>【世田谷区への協力事業】</b>          「世田谷区中学生講座」サイエンスドリーム          主催：世田谷区教育委員会          企画協力：日本物理学会          会期・場所：8月9日(火)・日本科学未来館</p>

	<p>【高校物理の授業に役立つ基本実験講習会】</p> <p>主催：物理教育研究会（APEJ）  共催：日本物理学会          応用物理学会  後援：学術図書出版社          大学発教育支援コンソーシアム推進機構</p> <p>期日：7月17日（日） 18日（月祝日）  場所：麻布高校（港区元麻布）  対象：現職の物理（理科）教員、物理（理科）教員を志望する学生他  定員：60名</p> <p>【物理学者から見た原子力利用とエネルギー問題】</p> <p>主催：日本物理学会  協賛：立教大学理学部</p> <p>期日：2011年6月10日（金） 13：00-18：00  場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館 3階多目的ホール</p>
2-4. 本会の目的達成のために重要な活動	
2-4-1. 第16回論文賞の表彰	5編18名を表彰した。
2-4-2. キャリア支援センター	<p>学会として若手物理系人材のキャリア支援のための活動を行った。</p> <p>主な活動としてメール、Webによるキャリア支援関連情報の周知を行い、2011年11月に神戸大と東大で物理系人材向けのキャリアガイダンスを開くための準備を行った。</p>
2-4-3. 協力活動	<p>「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力</p> <p>「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物理・応用物理学関連分野における2010年度の認定審査結果を審議・承認した。</li> <li>・ 認定審査に係わる、物理・応用物理学関連分野の”分野別要件”を見直した。</li> <li>・ JABEE 連絡協議会規約の一部改定、「物理・応用物理学関連分野」審査委員会規則の一部改定をそれぞれ行った。</li> <li>・ 2011年度の認定審査チームを発足させ、審査活動を開始した。</li> </ul> <p>男女共同参画関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月5日（火）～8日（金）に南アフリカ Stellenbosch で開催された The 4<sup>th</sup> IUPAP International Conference on Women in Physics (ICWIP 2011) に参加</li> <li>・ 8月18日（木）女子中高生夏の学校に参加</li> </ul> <p>研究費配分に関する研究環境関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費補助金の申請・採択状況について「データ提供に関する要望書」を日本学術振興会に提出した。</li> <li>・ 科学研究費補助金の申請・採択状況に間する独自の集計方法を検討した。</li> </ul> <p>受賞候補等推薦委員会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「朝日賞」など各種賞の受賞候補者を選定し、主催機関へ推薦した。</li> </ul>
2-4-4. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)	<p>応用物理学会と協同して運営を行った。センター運営に関わる協定書の発効に伴い、2011年1月1日から、刊行センター職員はそれぞれの雇用学会の就業規則に従うことになり、両学会の就業規則の差異を縮小することも念頭に置いた上で、2011年4月より就業規則の改定を実行した。</p>

2-4-5. 支部活動	支部例会、支部特別企画等 本会の各支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。															
2-4-6. 情報・資料公開	電子化・ホームページ関係 ホームページによる情報公開を行った。 図書雑誌および物理学史資料の供覧 本会所蔵の図書・雑誌、物理学史資料を会員の利用に供した。															
2-5. 刊行物																
2-5-1. 日本物理学会誌	第 66 巻第 1 号～8 号を刊行した。A4 冊子版、月刊、 <table border="1" data-bbox="561 461 928 663"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>868</td> <td>108.5</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>刊行部数</td> <td>141,200</td> <td>17,650</td> <td>18,000</td> </tr> </tbody> </table> ほかに年次大会のプログラムとして 3 月増刊号 143 ページ(本文) 18,190 部を刊行した。		総数	月平均	月予算	ページ数	868	108.5	120	刊行部数	141,200	17,650	18,000			
	総数	月平均	月予算													
ページ数	868	108.5	120													
刊行部数	141,200	17,650	18,000													
2-5-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN(JPSJ)	Vol. 80 No.1～No.8 を刊行した。A4 冊子及び電子版。 <table border="1" data-bbox="561 786 1050 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>1,962</td> <td>245</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>冊子刊行部数</td> <td>5,520</td> <td>690</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> 【掲載論文】 Full Paper 212, Letter 98, Short Note 17, Addenda 3, Comments & Reply 1, Errata 3, Invited Review Paper 2, Special Topics 0 【電子版の年間論文総ダウンロード数】 233,680 【電子版ダウンロード、国内外の比率】 国内 40%、海外 60%		総数	月平均	月予算	ページ数	1,962	245	258	冊子刊行部数	5,520	690	700			
	総数	月平均	月予算													
ページ数	1,962	245	258													
冊子刊行部数	5,520	690	700													
2-5-3. 講演概要集 (A4 判)	第 66 回年次大会(第 66 巻第 1 号) <table border="1" data-bbox="561 1234 1072 1576"> <thead> <tr> <th>分冊</th> <th>刊行部数</th> <th>本文ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>500</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1200</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1200</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1300</td> <td>308</td> </tr> </tbody> </table>	分冊	刊行部数	本文ページ数	1	500	158	2	1200	292	3	1200	241	4	1300	308
分冊	刊行部数	本文ページ数														
1	500	158														
2	1200	292														
3	1200	241														
4	1300	308														
2-5-4. 大学の物理教育 (B5 判)	第 17 巻 1～2 号(3 月、7 月)を刊行 <table border="1" data-bbox="561 1630 1193 1711"> <thead> <tr> <th>総ページ数</th> <th>1 号平均ページ数</th> <th>1 号平均刊行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>50</td> <td>約 1,800</td> </tr> </tbody> </table>	総ページ数	1 号平均ページ数	1 号平均刊行部数	100	50	約 1,800									
総ページ数	1 号平均ページ数	1 号平均刊行部数														
100	50	約 1,800														
2-5-6. JPSJ のサブメント	Supplement A to Vol. 80 (2011) Proceedings of the International Conference on Heavy Electrons 2010 (ICHE2010) 452 ページ、A4 判、400 部刊行															
2-5-7. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS(PTP)	本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 125 Nos. 1～6、Vol. 126 Nos. 1～2 を刊行した。 B5 判、月刊 <table border="1" data-bbox="561 1995 1088 2056"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		総数	月平均	月予算											
	総数	月平均	月予算													

ページ数	1,738	217	210
刊行部数	5,850	731	750
掲載論文数：本論文 77 Letters 9 上記のほか Supplement Nos. 187～189 の 3冊 (総頁数 1,020) を刊行した。			

### 3. 処務詳細資料

3-1. 総会・役員会等に関する事項	
3-1-1. 総会	<p>第 88 回通常総会 3月25日(金)15時00分～15時40分 日本物理学会会議室にて開催した。第1号議案の第68期会長には家 泰弘氏が選ばれ、第2号～第5号の事業・会計報告、事業計画・予算、理事・監事等の各議案が、それぞれ原案通り承認された。</p> <p>第 89 回臨時総会 2011年6月11日(土)13時00分～13時30分 日本物理学会会議室にて開催した。第1号議案の東日本大震災被災者への義援金拠出案、第2号議案の第67期～68期代議員の選任の案が、原案通り承認された。</p> <p>第 90 回臨時総会 2011年7月9日(土)13時00分～13時30分 日本物理学会会議室にて開催した。第1号議案の定款変更案(移行後法人での定款案)の一部修正・追加案が、原案通り承認された。</p>
3-1-2. 理事会	<p>下記期日に開催した。 第529回 1月8日、第530回 2月5日、第531回 3月5日、 第532回 4月9日、第533回 5月7日、第534回 6月11日、 第535回 7月9日、第536回 8月19日</p>
3-1-3. 委員会(開催日)	<p>会誌編集委員会 1月22日 2月16日 3月23日 4月16日 5月21日 6月18日 7月16日 8月24日</p> <p>JPSJ 編集委員会 1月19日、2月15日、4月12日、5月16日、6月15日、7月12日、 8月10日 (3月の委員会は16日に予定されていたが、震災の影響で中止され、代わりに電子メール会議を行った)</p> <p>刊行委員会 2月23日 5月9日 6月30日 8月30日</p> <p>PTEP 刊行準備委員会 4月20日 5月31日 8月1日</p> <p>物理系学術誌刊行センター運営協議会 2月7日 4月15日 7月7日</p> <p>受賞候補等推薦委員会 1月21日 7月15日 9月9日</p> <p>論文賞選考委員会 1月26日</p> <p>物理学史資料委員会 3月14日 7月29日</p> <p>物理教育委員会 1月15日 2月22日 4月3日 7月14日</p> <p>大学の物理教育編集委員会</p>

	<p>1月22日 2月19日 2月26日 5月21日 6月11日 6月25日 8月20日 JABEE 委員会議</p> <p>1月24日 男女共同参画推進委員会</p> <p>3月9日 5月30日 8月4日 領域委員会</p> <p>5月25日 事務局運営委員会</p> <p>3月3日 6月3日 (その他メール審議を数回) Jr.セッション委員会</p> <p>2月1日 7月24日 物理人材活用委員会 開催せず。 研究費配分に関する研究環境検討委員会議</p> <p>3月11日 8月12日 AAPPS 委員会</p> <p>2月12日 4月23日 (第25回 AAPPS 理事会 6月17日~18日)</p>
3-1-4. その他の事項	<p>応用物理学会との共同要望書について 会計検査院宛に、科研費補助の必要性についての共同要望書を提出した。</p> <p>JPSJ の海外販路の検討について 海外機関購読について、2013年から Institute of Physics の出版部門への委託を検討。会員サイトに要点を掲載し、会員へ意見を求めた。</p> <p>会誌発送方法変更について 会誌発送をヤマトメール便から、ゆうメールへ変更した。</p> <p>外部団体への推薦等について JABEE 理事として1名を選出、分子科学研究所学会等連絡会議構成員に2名を推薦した。</p>

### 3-2. 契約・入札・他に関する事項

#### 主な新規契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
2月15日	(株)ダイナコム	システム運用保守変更契約	3月1日以降の変更
5月26日	郵便事業株式会社 銀座支店	ゆうメール運送業務委託契約	2011/06/01~2012/05/31
6月29日	(株)エスケイコンサルタント	労働者派遣契約	2011/06/29~2012/06/28

入札に関する事項(なし)

#### その他の事項

領域13の物理教育分野について、日本物理教育学会との相互協定の締結  
日物応物男女共同参画連絡会(仮称)の設立

許可、認可および承認に関する事項(なし)

#### 4. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2010年12月31日現在	2011年8月31日現在	
正会員	17,283 <sup>1)</sup> (内：大学院生数 2,151)	17,239 <sup>2)</sup> (内：大学院生数 2,847)	- 44 (内大学院生数 + 696)
学部学生会員	47	140	+ 93
賛助会員	90(267口)	86(269口)	- 4(+ 2口)
特別会員	838 <sup>3)</sup>	832 <sup>4)</sup>	- 6
計	18,258	18,297	+ 39

1) うち名誉会員 6、シニア会員 495

2) うち名誉会員 6、シニア会員 486

3) 会誌：国内 260 国外 3、

JPSJ：国内 156 (オンライン版のみ 18、プラス冊子版 138)

国外 419 (オンライン版のみ 65、プラス冊子版 354)

4) 会誌：会誌：国内 250 国外、1

JPSJ：国内 171 (オンライン版 9、オプション冊子版 162)

国外 410 (オンライン版 91、オプション冊子版 319)